

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	作業療法評価学実習Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	昼間部2年		学期	後期	教室名	802/基礎医学実習室
担当教員	三田 直人					
実務経験と その関連資格	<p>作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。 資格：音楽健康指導士 準2級、地域音楽コーディネーター、認知症ケア指導管理士。</p>					
《授業科目における学習内容》						
<p>知識面では、各種共通領域評価の意義・目的・実施手順を覚え・書き出すことができる。 技術面では、知識面をベースに手順通り再現し、模倣実践が主体となる。 情意面では、知識面・技術面を踏まえ、学生間でFB・意見交換をできるようにする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験30%及び定期試験50%、小テスト20%で成績を決定します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>標準作業療法学 作業療法評価学 高次脳機能作業療学 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 各評価バッテリー使用説明書</p>						
《授業外における学習方法》						
評価バッテリーの実技を主体に講義が進みます。実技練習は必ず実施して頂くようにお願い致します。その際必要な検査機材は貸出申請書の記載提出が必要ですので計画的に動けるようにお願い致します。						
《履修に当たっての留意点》						
高次脳機能障害治療学の講義や運動学に付随する科目となります。対象となる疾患とつながる評価バッテリーの手順を基に実践していただけるよう手順は必ず覚えてください。またその評価バッテリーの結果からどのようなことが解釈できるのかを理解できるようにしてください。最後に情意教育が挟まれますので、学生間FBが重要となる事を意識してください。						
授業の方法	内 容		使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	作業療法に関する評価とは何かを学びます。	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書		運動学や高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願い致します。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 作業療法評価の種類とその実際				
第2回	授業を通じての到達目標	簡易上肢機能検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書		運動学で学習した疾患内容の復習をお願い致します。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。	
	各コマにおける授業予定	STEFでの上肢機能検査の測定方法・留意点				
第3回	授業を通じての到達目標	簡易上肢機能検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書		運動学で学習した疾患内容の復習をお願い致します。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。	
	各コマにおける授業予定	STEFでの上肢機能検査の測定方法・留意点				
第4回	授業を通じての到達目標	簡易上肢機能検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書		運動学で学習した疾患内容の復習をお願い致します。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。	
	各コマにおける授業予定	STEFでの上肢機能検査の測定方法・留意点				
第5回	授業を通じての到達目標	簡易上肢機能検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書		高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願い致します。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。	
	各コマにおける授業予定	STEFでの上肢機能検査の測定方法・留意点				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	授業内で学んだ内容を復習・理解し、手順通り実施できるようになる。	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	授業内評価バッテリー		
第7回	授業を通じての到達目標	実技試験	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	実技試験		
第8回	授業を通じての到達目標	認知症に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	認知症に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第9回	授業を通じての到達目標	認知症に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	認知症に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第10回	授業を通じての到達目標	認知症に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	認知症に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第11回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第12回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第13回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	高次脳機能障害治療学で学習した疾患内容の復習をお願いします。また、解剖学・運動学の知識を要しますので合わせて復習をお願いします。
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第14回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害に対する検査	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	評価バッテリーの復習
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害に対する机上検査でのスクリーニング検査の測定方法・留意点		
第15回	授業を通じての到達目標	まとめ・小テスト	標準作業療法学 作業療法評価学第3版・高次脳機能作業療学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学・各評価バッテリー使用説明書	ここまでの評価内容を振り返り、必要な知識をイメージできるようにしてください。
	各コマにおける授業予定	評価実習に向けて本授業内容に関わる臨床像をイメージする。		